

CASIO



oceanus.casio.jp


OCEANUS
OCEANUS STYLE BOOK VOL.5

BLUE PRIDE

本当の青を知っているだろうか。

青は深めれば、やがて藍へと変わっていく。

その成熟への道を究めようと、

深い青の旗頭を掲げ、世界へ飛び出していく男たち。

留まることなく、挑戦し続け

進化する事をやめない男たちの腕にこそ、

オシアナスはふさわしい。

Made in Japan の誇りを胸に。

BLUE PRIDE ~いま青を生きる男たちへ。

Elegance, Technology 操作する姿までもエレガントに。
シンプルな操作感により、多機能電波ソーラー時計として
次のフェーズに入ったオシアナスの進化の歴史に、また新たな1ページが刻まれる。

新しいオシアナスは同じ文字盤の上に、2つの都市のタイムコードを表現し、
2つの時間を同時に考え、体感し、生きる事が出来る。
まさに世界で戦うためのブルー・イン・2FACES。

そんな青の紋章を身につけ、世界へと挑戦する男たちをここにフィーチャーする。
さりげないこだわりと確たるアイデンティティをもって、進化し続ける男たち。
そんな彼らが語る胸に宿した青い炎、そのプライドとは？

BLUE PRIDE



BLUE PRIDE
×
TOKYO SKA PARADISE ORCHESTRA



2012年夏。日本国内がロンドン五輪に熱狂している最中、東京スカパラダイスオーケストラの9人はスイス、スペイン、イギリスを廻るユーロツアーを敢行。さらにニューアルバム『欲望』のレコーディングも並行して行っていった。そんな9人の腕には、それぞれオシアナスが紋章のように輝いていた。オシアナスとともに、世界を熱狂の渦に巻き込み続けている9人の「進化」と「挑戦」とは？

まずはNARGO、北原雅彦、GAMO、谷中敦の4人のホーンセクションに訊く「日本らしさ」、そして彼らの「挑戦」について。

世界における「日本らしさ」とアドバンテージ

————例えば海外のフェスに出演した時に改めて日本人を意識するような場面ってありますか。

GAMO 今回ちょうどロンドン五輪と重なっていて、一日だけどうにかスケジュールを詰め込んで、半分オフにしてオリンピックサッカーの日本代表を応援しに観に行っただですよ。そこで君が代を斉唱した時に何とも言えない

気持ちになりました。「ああ、やっぱり俺って日本人だな」と。ナショナリズムとかそういう気持ちじゃなくて、「ああ日本人だな」って腑に落ちる感じですね。それはすごくいい体験でしたね。**北原** 君が代は威力ありますよね。あの曲のスケール感。**NARGO** 日本選手を応援しに行ってるから、尚更特別な想いが湧いてくるんですよ。

————今回、アルバムを通して海外で録音されるのは初めてと聞いているんですが、海外でレコーディングするからこそその音の出方みたいなものはあるんでしょうか。**NARGO** 海外で作るから、ロンドンで作るから、それっぽいものを作るかと思ってたんですけど、みんなの気持ちに逆に日本っぽいものになってきて、妙に昭和の日本っぽい感じにクローズアップされてきたんです。アルバム全

体で日本の匂いがぶんぶんする感じになってるんですよ。ロンドンから日本を俯瞰で見る感覚と、日本的な濃いものがすごく抽出される感じがするんですよ。

————皆さんの意識もその方向にクローズアップされていった感じだったんでしょうか。**谷中** 自分たちがあまり意識していない部分に、すごく日本らしさやオリジナリティを感じてもらえてる。そういうところはあると思うんで「じゃ、日本の色を出して行こう」って意識はしなくてもいいのかも知れない。面白いですよ。以外と気がつかない部分に鍵があるっていう。**NARGO** 日本から輸出しようとする、すごく日本らしさをデフォルメして出す事も出来る訳です。良いか悪いかは別として、琴を入れたり、和のメロディにしたり。それでフジヤマ、芸

者にするのもアリだけど、普通にやっているのを日本人がやっているのが格好いい。そういう感覚が面白いと思います。海外行けば行くほど見えてきます。

オシアナスと連帯感

————今回は皆さん、ツアー中にオシアナスを使用されていた訳ですが、その感想を教えてください。**北原** まずみんなが何時何分何秒まで同じ時間を刻んでいる。そこに連帯感が生まれますね。**NARGO** 飛行機に乗りますよね。そのとき窓際の席に座ってたんですが、飛行機に乗ってると太陽の光って強いじゃないですか。差し込んできた光が、オシアナスに当たって跳ね返った光がめっちゃめっちゃ綺麗だった（笑）。ご存知でした？自分めっちゃくちゃ感動したんです。

谷中 そんな発見があったんだね。**NARGO** 反射光が宇宙みたいでした。ほんと綺麗な時計ですよ。**谷中** この青い文字板っていうのも他のメーカーではなかなか無いですよ。**NARGO** 僕は以前からオシアナスを使わせてもらっていたんですけど、黒に青が映えるんですよ。オシアナスって。キラッと光る感じで。**北原** 私は白地に青のオシアナスが好きですね。いつも使っているオシアナスもそれで、品の良い感じですよ。**GAMO** 僕もオシアナス大好きですよ。僕は腕時計はしないつもりだったんです。今まで10何年してなかったんです。でも、今や無くてはならない感じですね。**NARGO** 正確なのが良いですよ。（電波時計だから）当たり前ですけど（笑）。**北原** 時計って大体狂うっていうのが当たり前というか、そういうイメージでした。

スカパラ 23年目の更なる挑戦

————最後に今年でデビュー23年を迎えたスカパラについての抱負を教えてください。

谷中 そうですね。去年は初めてメキシコに行って VIVE LATINO というフェスに出て大歓迎を受けたり、今年はイギリスの WOMAD FESTIVAL だったりとか、最近は色々なタイプのフェスに出演させていただいています。ロックフェスだけでなく、色んなフェスの色んな音楽ファンがいるので、そういうところでスカパラの存在感を出していくのが面白いと思っています。そういう意味でもっと海外に出て行きたいなって思いますね。**GAMO** ライブはまだ行ってない場所もあるし、以前に国内の普段廻ってない場所を廻ってみようってツアーをやったんですけど、それもまたやって

みたいですね。**北原** 無我夢中でやってきた23年だったのであつという間ですね。この23年間も何より自分たちが一番楽しんでいる気がします。これから先も自分が一番楽しんで行けたらと思いますし、まだまだやりたい事もありますしね。

————次にやりたい事が溢れてるんです。

NARGO そうですね。ドラムの欣ちゃんが「俺たち発明家だぜ」ってライブのMCの時に言うんです。それがすごく良くなって思っています。色んなものを今後、色んな人と交わりつつ、新しい発見や発明を出来たら、嬉しいし、音楽が出来る限り、続けて行けたら幸せだなって思います。ホント幸せなバンドだなって思います。ええ。このままずっと行けたら良くなって思っています。



続いて、加藤隆志、川上つよし、 沖祐市、大森はじめ、茂木欣一の 5人のリズムセクションに訊く「日本らしさ」、 そして彼らの「進化」について。

スカバラを知らないオーディエンス

———海外での活動も多いスカバラですが、例えば日本を代表しているような場面も多いかと思うのですが。
加藤 もちろんありますよ。前情報無しで、知らないお客さん達が多いとこっちは燃えますよね。僕らはダンスミュージック

クなんで躍らせてなんぼだと思っています。最初は見物で、ただの興味本位で来ている人達も、どんどん音楽にのめり込んでいって、最後は両手を挙げてハッピーな景色になっていくっていう。日本だとある程度、スカバラの音楽ってどういう音楽かは知られていると思うんです。でも向こうに行くと、どんどんそれを開拓

していく喜びがある。未だに世界で行ったことの無い場所に行けば行くほど興奮しますよ。嬉しさもありますよね。

大森 やっぱり一発目出て行った瞬間に東京という名前のついたバンドが、全員お揃いのスーツでドンと出て行くんでその瞬間に皆オッ!となる。どんなバンドなんだって観てくれるんで。後はそこからの勝負なんだなって。どんどん見せて行こうっていう。

茂木 うんうん。あのお揃いのスーツを着た日本のやつら。あいつら良かったよね、みたいな。情報が全然無い分、とにかくインパクトと音楽で真価が問われる訳で、やりがいはずごくありますよね。

川上 多少コアな人たちはスカバラを知ってくれていて、待ってましたって感じの人たちもいましたね。よりスピーカーから出てくる音に反応しているというか、前情報じゃなくて。それが格好良ければ格好良いじゃんって分かってもら

えるところはあるよね。

現代のアナログにふさわしいオシアナス

———オシアナスは皆さんお使いになられてたんですよね。

加藤 オシアナスは素晴らしいですね。特に夏なんか、ラフな格好していても時計だけちょっとはめていると、「(良い意味で) ちょっと違うな」って感じがする。沖 ラフな格好でもいけるっていうのはすごく良いですよ。

加藤 オシアナスをしていると他のミュージシャンの方々にもよく訊かれますよ。「その時計、格好良いねって」。

茂木 世界時計の機能もすごいスムーズですよ。都市の名前に秒針合わせるだけで、一瞬で時間が合っちゃう。何のストレスも無い。普段、僕は演奏中に腕時計は出来ない方なので、演奏するときに

は外さないとダメでそれが悔しいんです。でも、そもそも時計をしている事を忘れちゃうぐらいの自然な存在っていうか。いつもそこにいてくれてる。集中している時は時間に捉われないんだけど、「ところで今何時?」って時にそこにいてくれるっていうか。そういう存在感が格好良くなって思いますね。

大森 針で、パツ見て瞬時に時間が分かるっていうね。デジタルだと頭の中で一回変換するんだけど、アナログだとパツと見て今18時前だとか分かる。

川上 ここからここまで飲めるとかね。終電がこの辺だとか(笑)。

沖 僕は毎日しているんですよ。逆に外出の時に忘れてたりすると居心地が悪くなってしまったりほとんど毎日しています。オシアナスは元々自分で好きで使っていたから、自分に馴染んでいます。アナログなんだけど、きっちり時間が合っているところが現代のアナログって

いうか。そういう意味で美味しいと獲りの時計って気がします。

23年を経過した、これからの進化

———あらためてこの23年。そしてスカバラの集大成について教えてください。

川上 20年間音を出し続けているプライド。今回のオシアナスのBLUEPRIDEのプライドって言葉はすごくいいなと思っていて、僕らも20年以上やってきたスカバラのプライドみたいなものを日本だけでなく海外にも伝えて行けたらいいなって思っています。それで日本の音楽が世界に拡がっていく第一歩というか。今以上にそうなっていく環境になればいいなって思っています。カシオの時計もそうだし、日本の車だったりとか、日本のブランドが進出して行ってる。例えばサッカーで海外に出て行く香川選手

だったりとか、僕らも彼らを見ていると励みになるっていうか。そういうブランド感を大事にして行けたらいいなって思いますね。

茂木 やっぱり守りに入らないって事ですね。それしか考えていないかな。今回のアルバムは特にそうなんですけど、ブランド力もすごく大事なんだけどそこからもっとあるね、もっとあるねっていう部分を開発して行きたいというか。オシアナスひとつ取ったって、日付のところが3時にあるんじゃないって、4時と5時の間にある事にさりげなくこだわるとか。急激に進化する必要はないんだけど、ひとつひとつ細かい事を掘り上げていって、どんどん前へ行く攻撃性というか。そういう事をやりながら世界の人にどんどん知って行ってもらいたいと思います。

沖 音楽的なハングリーさってずっと自分の中にはあるので、もっともっと前へ

行きたい。それが40歳過ぎて、どうなるのかって思っていたんですけど、消えないどころか「もっともっと」って気持ちをどうにかさせないといけないと思います。

大森 さっき欣ちゃんも言っていたように、決められた枠の中に入っていたくないなっていう。「こいつらこんな馬鹿な事、こんなに真剣にやってるんだ」って言われるのが最高の褒め言葉ぐらいの感じで今後も行って、それがたぶん進化になると思う。

加藤 そうですね。僕はスカバラに加入して10年以上になるんですが、やっている、奉られる部分もあるんですけど軽いスタンスで、フリーな気持ちで良くも悪くも唯一無二の存在でやって行ければなって思います。



RECORDING REPORT

11月14日に発売となる東京スカパラダイスオーケストラ17枚目のアルバム『欲望』は、この夏バルセロナとロンドンでレコーディングされた。オシアナスのテーマ曲「Wild Cat」も収録されたニューアルバム『欲望』について訊いた。

-----東京スカパラダイスオーケストラにとって、アルバムを通しての海外録音は初めてと聞いています。加藤 今マスターリングで上がったばかりの音を聴いていたんですが、過去の作品の中でも胸を張って最高傑作と言える作品になっていると思います。ここまで自分たちの演奏を聴いてわくわくして、身体が踊りたくなるような感覚になる作品というのは未だかつて無かったので、これがリスナーに届くといいなと思いますし、自分自身も興奮しています。今まで以上にダンスミュージックですね。大森 これだけ、全員一緒にセーのでドンと録った記

憶も無いんですよね。本当に一発なんです。演奏としても一番テンションの高いところを録っているの。川上 一番潔いと思います。後から直せるという部分を作っちゃうと、結局きりが無いというか。日本で録っているのと変わらない内容になってしまう。ホントに一発録りの勢いが込められていると思いますね。

-----オシアナスの今期のテーマ曲にもなる「Wild Cat」について教えてください。

沖 ロンドンで録音してきて、一発で決まった曲ですね。曲のテンポ感というか、人間の持っているタイム感がうまく表現されたと思っています。3分の曲を3分で作り上げるっていう（無駄の無い）テンションで出来たんじゃないかなと思います。（タイトルの由来は）軽快で妖しさもありつつ、野性的なところもある。ちょっと悩ましい女性のイメージもありますね。



17th New Album『欲望』
2012.11.14 ON SALE



BESPOKE TAILOR DMG

スカバラも愛用するオーダーメイドスーツショップ、ビスポークテイラー DMG。今回は特別にオシアナスをイメージしたスーツ（スカバラ撮影時着用）とオリジナルネクタイ（キャンペーン賞品）を作ってもらった。オーナー小西正仁氏に訊く、その出来栄えとは。

今回のスーツとネクタイは生地が光沢のあるイタリアの高級素材です。特定箇所はハンドメイドな作りなので、違いが分かるはずです。オーダーメイドスーツはやはりサイズ感やバランス、仕立てなどの良さにつきると思います。しっかりとした作業や工夫することで、良さを表現出来たらと心掛けています。小西正仁・談

BESPOKE TAILOR DMG

大阪府大阪市中央区博労町 4-2-7 波多野ビル 1F
06-6243-7269
11:30 ~ 20:00
定休日：火曜
<http://www.bespoke-tailor-dmg.com/>



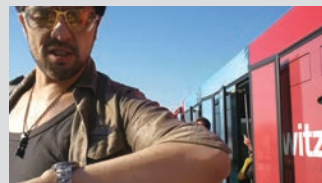
OCEANUS NEW MODEL REPORT

新しいオシアナスは、2つの都市の時刻を同時に把握できる、デュアルタイム表示を採用。まさにブルー・イン・2FACESな、この大胆な進化を、ユーロツアーで一足先に体感してきた谷中敦氏に訊いた。

僕だけ2都市同時表示の時計を使っていたんで得意気な気分でした（笑）。実際すごく使えましたよ。ボタンひとつで表示をくりと変えられるのはすごく楽です。携帯でもデュアル表示のような形で数字で2都市の時間を表現してもらっていたんですけど、文字板の針で向こう（日本）の時間を気にしながら、連絡とれたりしたのは重宝しました。だから向こう（日本）の時間がアナログの文字板で表示されているっていうのは「こんなに便利なのか」って思いましたね。海外にいるとやっぱり日本の時間は気になります。連絡とらなきゃいけない場面も多いし、連絡来た時に何時だろうって思う。あと海外にいて日本から来たメールの時間を見て、「このメール何時に送ってきたんだろう」とか分かり難かったりするじゃないですか。こういうの今まで無かったんですよね。デジタルじゃなくてアナログ針表示というのが画期的だと思います。格好良いし、感覚的に受け入れやすいんですね。（谷中敦・談）



OCW-S2400-1AJF



横浜・横須賀をそのアイデンティティとして、
世界に唯一無二の音楽性を見せつける
“東洋のサウンドマシーン”こと
クレイジーケンバンドの横山剣氏。
そんな横山氏に訊く“日本らしさ”と“こだわり”と、
そして“オシアナス”について。

BLUE PRIDE × CRAZY KEN



外国の人から見てもうさうだと思んですが、日本イコール高性能かなと思う事が多いですね。もちろんメカニズムだけじゃなくて、考え方のセンスなんかの湯加減やバランスの取り方も絶妙だと思います。その辺がすごくきめ細やかだったりするところが日本人らしさかなと思いますね。

僕の場合、D Jやセレクターとは違ってモノを出す方なので、あまり音楽の影響というよりも、音楽じゃないところから得たものを音楽に変換する事が9割方を占めるんです。フォーマットを取って引用することはあっても、どちらかと言えば、香りとか質感とか、そういうものを音楽に化学変化させていくんです。

例えば映像でも同じカメラで撮っているのに空気の粒が違うのか、LAで撮るとLAって色をしていて、日本で撮ると日本の色をしている。この違いが何かは分からないけれど感覚で捉えて、それを出していくってことですね。例えば、リパブル・サウンド、デトロイト・サウンド、フィリー・サウンドがあるように、本牧には「本牧音」があると。

それは土地の磁場というか、地縛霊というか、意識を越えた得体の知れないもの。要は「考えるな、感じる」でキャッチするって事だと思います。

オシアナスはとにかくコンフォータブル。使うものですから着けていて何のストレスもないというのが一番です。時計は見るだけのモノではないし、もちろん見せても格好いい。私が参加しているクラシックカーの競技でも非常に役に立ったので、実用的だということ、オシアナスの機能美が好きですね。飾り立てるんじゃないくて、レーシングカーもそうだけど風洞実験やあらゆるテストの結果、あの形がある訳で、それこそ機能美だと思います。装飾じゃなくて、必然でこの形になったっていう。オシアナスが、ちょうどいい重さなのも機能美と言って良いでしょう。

ジャパンブランドの選択肢。誇らしくもさりげなくっていう、もう一つの美徳が含まれていますね。一步引きの美学。俺が俺がっていうんじゃないくて、それが一番、粋だと思うんですよね。それでも芯の部分には確かな強さがある。そしてテクノロジーで誇れる。👉

Elegance, Technology

OCEANUS Manta OCW-S2400

Smart Access
World time (Dual time)
Stopwatch
MULTIBAND 6
TOUGH SOLAR
10-bar water resistance

157,500 yen




OCEANUS

BLUE PRIDE X TATSUO SUNAGA

これまでオシアナスと6年に渡って「夜ジャズ」というイベントを育ててきた須永辰緒氏。DJとして、絶対的スペシャリストである須永辰緒氏が語る BLUE PRIDE、その矜持とは。

今はスペシャリストの時代です。DJの分野のスペシャリスト。そういうスペシャリストたちのフォロワーがいる中で、より特別な存在へなるために誰もが研鑽している訳です。逆にどんな分野にも通じたオールラウンダーが少なくなってきたと思います。昔はオールラウンダーじゃないといけなかった風潮がありましたけど、箱の数が少なかった事もありますし、技量のある人は限られていました。

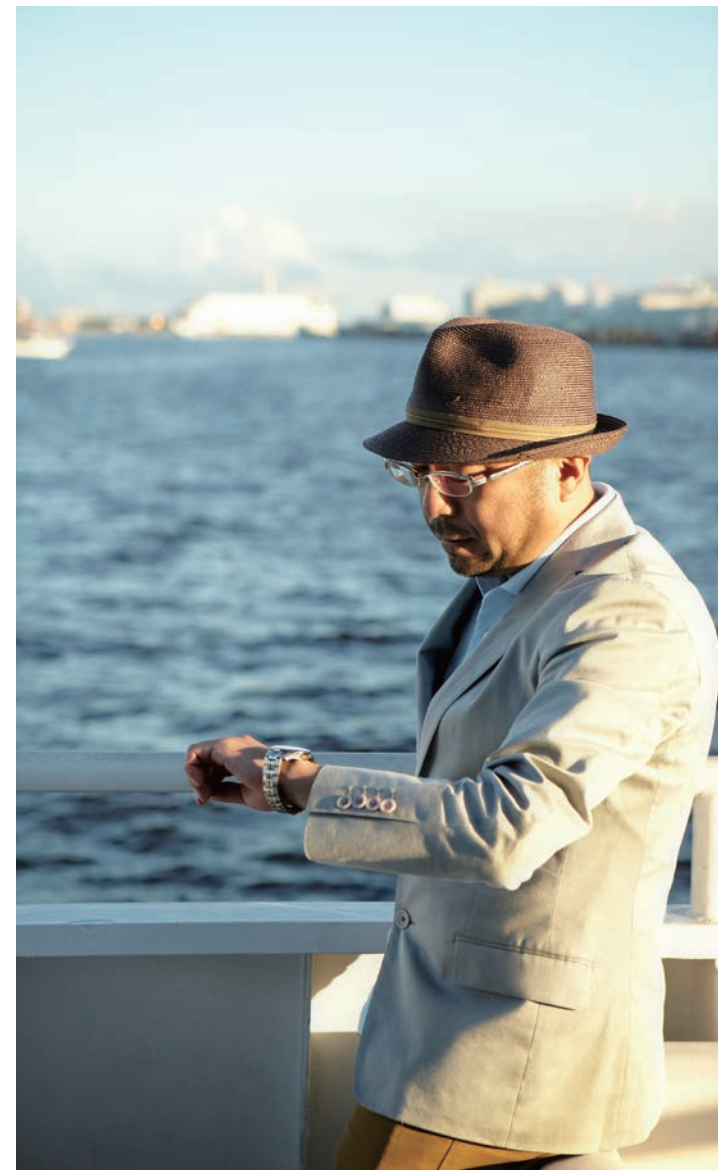
現在はスペシャリストがどれだけ突っ走れるか。多くのスペシャリストがいる中で、スペシャリストは広く深く追求していかないとけない。つまり勉強が必要なんですよね。DJは何が最先端か、そして基本のおさらいを常に学習しておかなきゃならない。

オシアナスのこのブルーは誇っていいと思います。最初見た時は衝撃でしたもの。「世の中にこんな時計があるんだ」っ

てびっくりしました。青色はより濃くなってますね。

BLUE PRIDE、つまり矜持ですよ。それが無かったら自分を否定してしまう事になりますからね。オシアナスは唯一無二のブランドです。自分もそんな偉そうには言えないですが、このスタイルは世界でも稀だと思います。分母は多くはないですが、その分母の中では絶対的な存在になりたいので、その部分に関してのみ、異常なプライドを持っています。

そういった意味ではプライドは生き方でもあるし、自分の仕事全てだと思います。オシアナスと色々一緒にさせていただいて、一貫して共通しているのはそこなので、共感していただいていると思っておりますし、「私もどうしても一緒にしたい」と感じる部分なんです。毎回毎回それは確認させてもらっています。だからこそ、「もっと自分も研鑽を積み重ねれば」と襟を正される存在です。





BLUE PRIDE
X
TOSHIMI WATANABE
YOICHIRO ITO

TOKYO No.1 SOUL SET の
渡辺俊美氏と
DJ / プロデューサーの
伊藤陽一郎氏による
自然体から生みだされる
都会の音、
そしてスタイルについて。

-----渡辺さん、伊藤さんの作り出す音楽は都会や東京を象徴していると思うのですが。

渡辺 東京って混沌としているし、クリエイティブな人がすごく多い。だから僕にとって東京の音楽はミクスチャーというか、混ぜている音楽が格好いいという印象がある。そういうところで戦っているイメージがあって、面白いですね。

-----そこには挑戦するという感覚もあるんですか。

渡辺 挑戦というより、東京を肯定したり否定したりするのは東京の音楽だと思います。僕は田舎に住んだらビートルズになっちゃうと思います。

-----逆に東京はリズムやビートがあって欲しい感じですか。

渡辺 そうですね。リズムが無いとね。眠らない街ですから。

-----伊藤さんは「東京の音」に



してどんな印象をお持ちですか。

伊藤 あまり意識した事無いけど、当然鳴っているとは思っています。DJの時に持って行くレコードの幅はある程度広く。何をかけるかは家で決めれないからね。その店、その時間、自分の番にならないと流れてなくて、その時にコレかな？って曲を選んでかけてる。もしかしたら、それが東京の音になってるかも知れないですね。

-----お二人は同世代ですが、最近のファッションはどんなスタイルを好まれますか。

渡辺 高いモノが欲しい訳じゃないんですけど、若い時は高いモノ買って、「ああ買っちゃった」。でも「買った自分が大好き」な感じで終わっていたんだけど、今は長持ちさせたい。

伊藤 飽きないんですよ。

渡辺 高いモノ買うと、「ああ、やっぱり高いモノはいいモノなんだな」って

分かる(笑)。だってこの時計だってそうじゃない。値段の高い時計はあるけど、オシアナスだって40万、50万してもいい時計だと思ってる。でも、削って削って、ここまでの形になりましたというのが見えるもの。皆に手に取って欲しいって思いますからね。

-----なるほど。多くのモノを見てきた事で、そういう選び方がついてるところもあるんでしょうね。

伊藤 うん。それで逆があっても良いと思うしね。消費出来るものは消費していいし。

渡辺 うん。それがファッションだと思うんです。自由だからね。

-----オシアナスをお使いになられている感想を教えてください。

渡辺 僕のは TOSHIMI って刻印されているオシアナスなんです。オシアナスは外さなくてもいいですね。つけてるの忘れるぐらいなんで。前から思っ



ていたんですけど、フィット感がすごく好きなんです。オシアナスの。

伊藤 僕はもう普段使いで使っていますよ。僕の場合はしてないと「あれあれ」ってなるし、家出る時につけてるかつけてないか気になるようになりました。

渡辺 時間見るのに、携帯で確認するより、絶対時計見て確認した方が

いいものね。



2011年2月におこなわれた OCEANUS「PREMIUM PARTY 2011」では、海外からのゲスト GLOVE と谷中敦氏によるスペシャルセッション LIVE の他、両名もDJとして参加。

HAVE A GOOD TIME WITH OCEANUS

スタイルブックに登場した面々によるオシアナススタイルな「おすすめ」の店。
AMARANTH LOUNGE と 2f (ニカイ) では、オシアナスを常設展示もしている。



AMARANTH LOUNGE

並木橋の古城「アマランス・ラウンジ」。
夜な夜な楽しい会話とコミュニケーションを求め、
小粋な大人が集う。
毎週末のDJパーティと、
韓国料理が秘かな人気の店だ。

ひとことと言えば「東京らしい店」。気のいい常連客と客を甘やかさないスタッフ。週末にはユニークな音楽のセレクターに裸同然のダンサーも集い、九龍の不夜城のような猥雑さとエネルギーに溢れます。リークんの韓国風卵焼きは絶品過ぎるし、夜の愉しみが全部詰まっているお店です。

——須永辰緒



東京都渋谷区猿楽町 2-5 5F
03-3770-2331
21:00 ~ 28:00

定休日：月曜不定休

<http://www.monstera.jp/amaranth/>



2f (ニカイ)

神戸は三宮、山手幹線沿いに位置する
カジュアル・ラウンジ「2f (ニカイ)」。
ラグジュアリーで妖艶な雰囲気の中にも、
気さくな笑顔が溢れる大人のための社交場だ。

神戸セレブと香港セレブと横浜セレブってすごく遊び心があるっていうか、ファンキーなんですね。会話とかもウィットに富んでて、この時代、ストレートな物言いが多く、昭和の時代はブラックなジョークもジョークはジョークとして受け流せる知性があった。この場所にはまだそういうものがある。すごく居心地が良い空間だと思います。

——横山剣



兵庫県神戸市中央区中山手通 1-26-2
オーチャードアレー山手通 2F
078-272-3346
20:00 ~ 24:00

定休日：日曜・祝日

<http://www.team-le-deux.com/>



屋根裏のパリ食堂

中目黒の隠れ家的なパリ食堂。
開放感のあるテラス席があり、
カジュアルにフレンチを楽しめて、
パリの日常を感じさせる。

東京都目黒区青葉台 1-17-2 青葉台 117ビル 3F
03-3770-7052
平日 18:00 ~ 26:00 / 日・祝日 18:00 ~ 22:00
/ 休日ランチ 12:00 ~ 15:00
定休日：月曜 (祝日の場合は翌平日)
<http://www.hayashi-design-office.com/parishokudo/>

もともと仙台でお店をやったオーナーなんですけど震災後、東京に店を出したんですね。高級というでも無く、値段も良心的で女性におすすめのフランスの居酒屋という感じですね。すごくいいですね。ワインも美味しいし、デートに使うのにいい。さりげない感じで。一軒目にちょうどいいんじゃないでしょうか。——渡辺俊美



立ち飲みなるきよ

ファッションの街、青山表参道に位置する
大人気の居酒屋。
カウンタースペースと奥に
座敷もあり気心の知れた仲間と飲みたい店だ。

東京都渋谷区渋谷 2-7-14 中村ビル B1F
03-5485-2223
18:00 ~ 24:30
定休日：不定休

青山の路地裏に佇む「立ち飲みなるきよ」。肉、魚、野菜、様々な旬の食材を九州出身の店主なるきよの独自のアイデアとセンスによる彼流の料理は、目に華やかで舌の肥えたファンも唸らす。また、夜な夜なオープンキッチンで繰り広げられる彼のトークと調理はエンターテインメントそのもの。その人柄に魅了されるお客さんも多いのではないだろうか。——伊藤陽一郎



kong tong

三宿交差点の角にあるレストラン・カフェ・バー。
ランチからディナー、さらにバーと、
良質な音楽と共に時間の移り変わりを楽しめる。

東京都世田谷区池尻 3-30-10 5F
03-5431-7329
11:30 ~ 28:00 (土・日・祝日: 12:00 ~)
定休日：不定休
<http://garlands.jp/kongtong/>

色んな意味で包容力のある店。カワイコちゃんのランチから朝方の酔っぱらいまでフォローできる店が他にあるだろうか？素敵マスター (福田氏) 前のカウンターは都会のオアシスかも (笑)。——伊藤陽一郎
kong tong に来るお客さんは強者 (つわもの) が多くいて印象です。かかっている音楽も良いし、色々遊んで最後にここに来るイメージです。一つの話で何時間も話し込める店。首都高の眺めも東京っばい。——渡辺俊美

EVENT REPORT

2012年、オシアナスがコラボレートしてきたイベントの数々。
BLUE PRIDEを持ったスタイルと世界観を共鳴させてきた軌跡を紹介。



東京スカパラダイスオーケストラ
2012.03.13 (TUE) at 代々木公園野外ステージ
FREE LIVE「Walkin」 supported by OCEANUS

東京スカパラダイスオーケストラ
2012.07.05 (THU)・07.06 (FRI) at 代々木第二体育館
「Walkin」TOUR FINAL supported by OCEANUS



CRAZY KEN BAND
2012.07.15 (SUN) at ホテルニューオータニ幕張 ガーデンエリア

「SUMMER BREEZE 2012 - Yokowake Handsome World at SHELL HOUSE」 special thanks OCEANUS



2012.09.15 (SAT) at Celebrity II号

OCEANUS
夜ジャズ

OCEANUS presents 夜ジャズ
PREMIUM CRUISE EDITION



詳細は、OCEANUS オフィシャルサイトまで <http://oceanus.casio.jp/event/>

OCEANUS STYLE WEB

スタイルブックだけでは終わらない。さりげないこだわりと確たるアイデンティティをもって進化し続ける男たちのインタビュー完全版が掲載されています。さらにスカパラ EU TOUR の模様を収録した、ロードムービーなどもご覧いただけます。こだわりの詰まったスペシャルコンテンツを是非ご覧ください。

<http://oceanus.casio.jp/style/>



OCEANUS BLUE PRIDE CAMPAIGN

オシアナスをお買い上げのお客様に、抽選でプレミアム・パーティへのご招待や、こだわりの大人の逸品が当たるキャンペーンを実施中。
応募期間 2013年1月15日(火)まで

PREMIUM PARTY 2013

東京・大阪で開催する「BLUE PRIDE プレミアム・パーティ」にご招待。
東京スカパラダイスオーケストラによる SPECIAL LIVE など、上質な音楽と料理が奏でる、エレガントな大人のための特別なひとときをご堪能ください。



東京 100組 200名様
■日程：2013年3月20日(水・祝)
■会場：マンダリンオリエンタル東京
グランドボールルーム



大阪 75組 150名様
■日程：2013年3月9日(土)
■会場：ハイアットリージェンシー大阪
リージェンシーボールルーム

PREMIUM GOODS 合計 17 名様



CORBO. プリーフケース
5 名様



OCEANUS
オリジナルネクタイ
10 名様



CKB 賞 1 名様
クレイジーケンバンド
オリジナルゴルフバック
CRAZY KEN サイン入り



スカパラ賞 1 名様
東京スカパラダイスオーケストラ
メンバーサイン入り
NEW ALBUM『欲望』

詳細は、OCEANUS オフィシャルサイトまで <http://oceanus.casio.jp/cp/>

Art Direction&Design Akira Sumi / Design Chihiro Sawada / Editor Yusuke Aoki / Photo Akihiro Furuya / Interview Photo Junko Yoda / p13 Photo Kenichi Sugimori / P15 Photo Koji Sakai / Stylist Satoshi Yoshimoto / Hair&Make-Up Mica Kanzaki / Retouch Masaki Ueda / Production Designer Kiyoshi Takahashi / Producer Toshihiko Kikuyama

OCEANUS NEW LINE UP



OCW-S2400-1AJF
¥ 150,000 (税込 ¥ 157,500)
Smart Access
World time (Dual time)
TOUGH MOVEMENT
10-bar water resistance



OCW-S2400PG-7AJF
¥ 155,000 (税込 ¥ 162,750)
Smart Access
World time (Dual time)
TOUGH MOVEMENT
Mother of Pearl Dial
10-bar water resistance



OCW-S2000-1A2JF
¥ 150,000 (税込 ¥ 157,500)
Smart Access
World time
TOUGH MOVEMENT
10-bar water resistance